

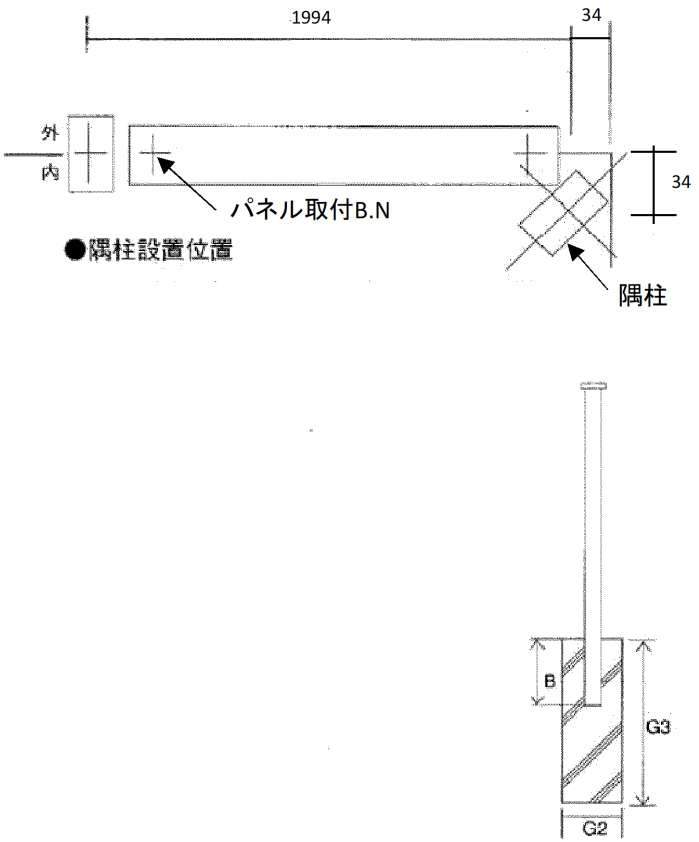
角パイプフェンス SP-C型

組立説明書

①柱の位置を決め、基礎を設置します

●柱間隔は芯々2,000mmピッチで割付けてください。

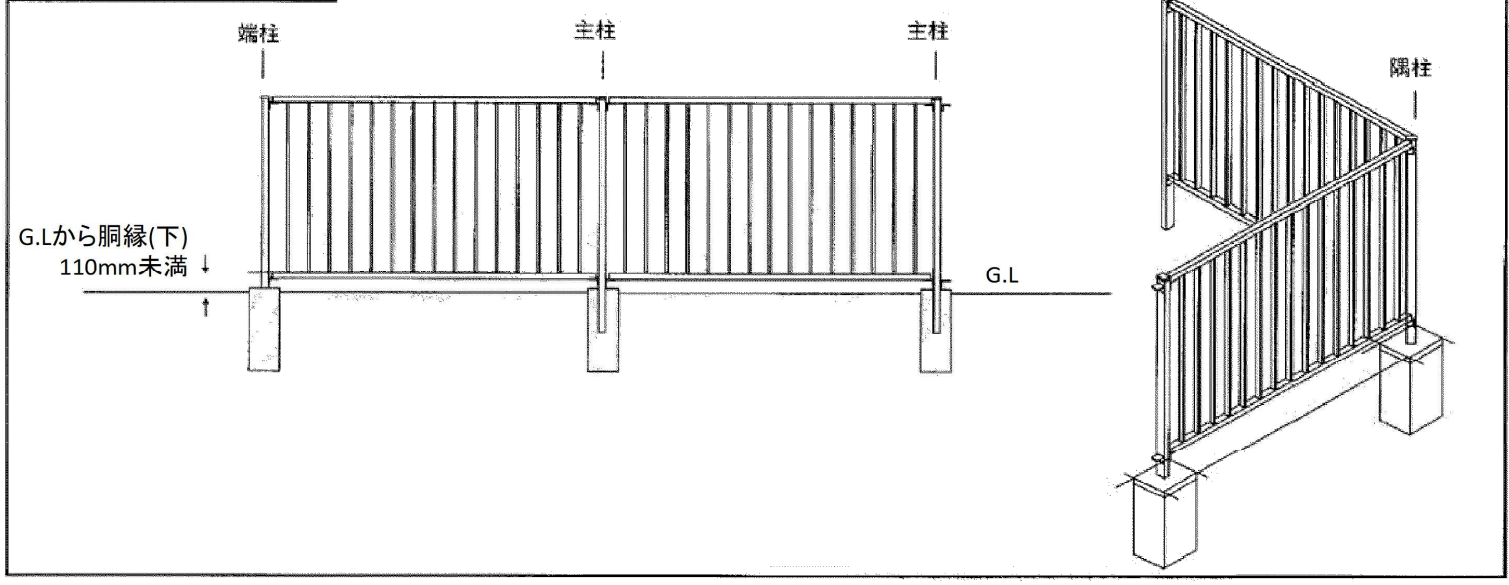
寸法 型式	基礎寸法 G1 × G2 × G3(mm)	埋込寸法 B(mm)
H900	180 × 180 × 450	170
H1200	200 × 200 × 450	220
H1500	250 × 250 × 450	270
H1800	250 × 250 × 450	270



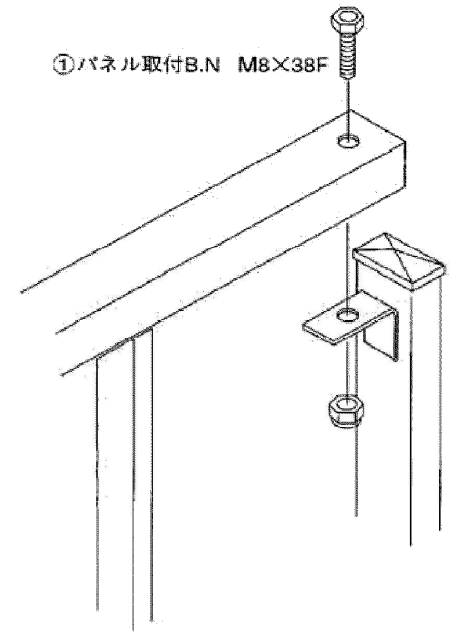
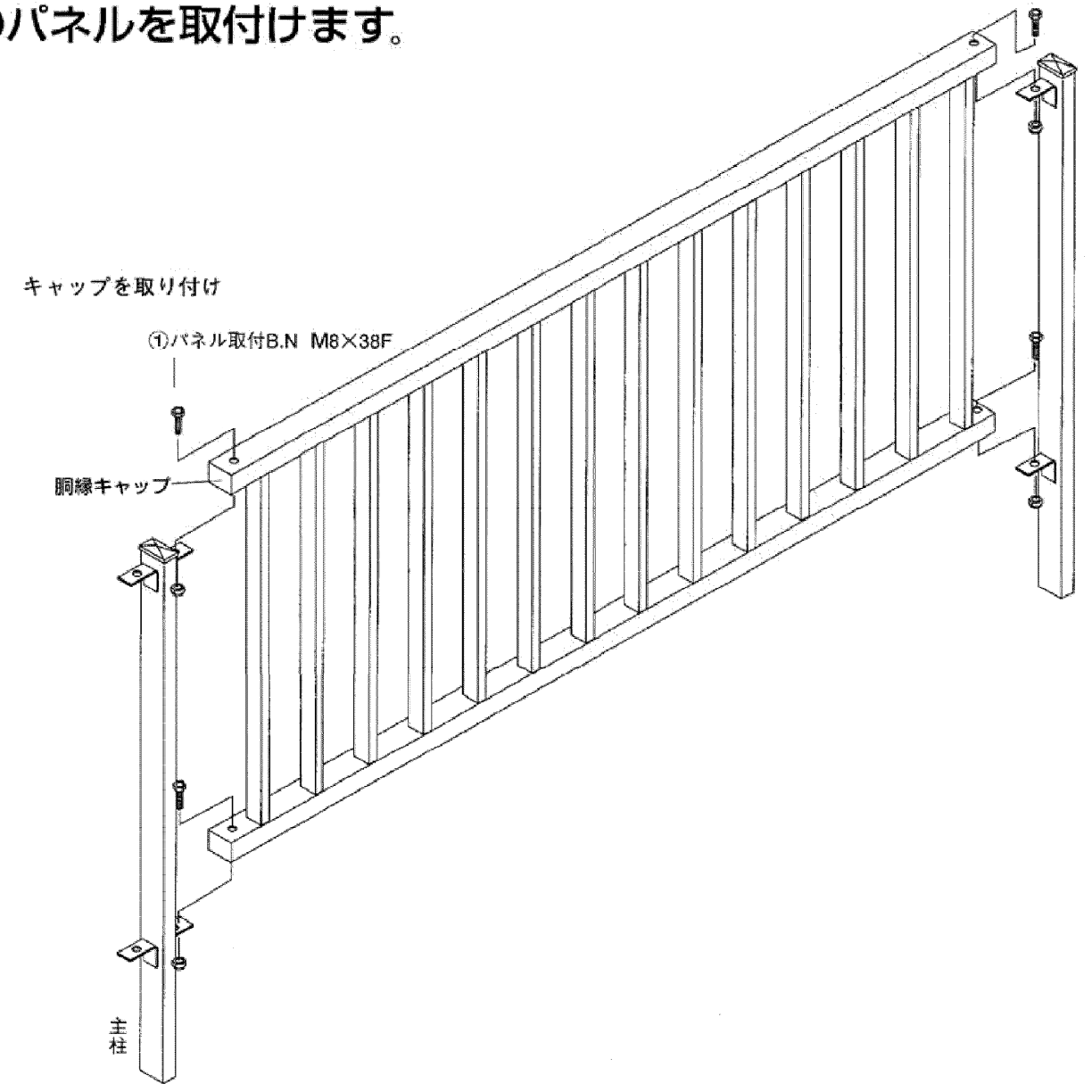
②柱を建てます

- フェンスの下端からGLまでは110未満になるように施工してください。
- 隅柱は軸芯より45°(90°コーナーの時)振り向けて設置してください。

SP-C型姿図



③パネルを取付けます。



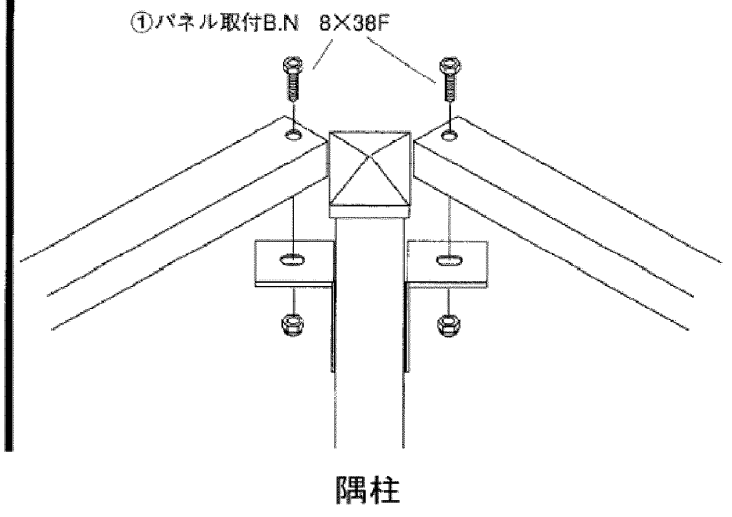
作業上の注意点

- 短スパンは柱間隔に合わせてパネルを切断し、ボルト用の孔をあけ胴縁キャップを取り付けてください。
- 切断部はバリを取り、補修塗料(タッチアップ)で補修してください。

⚠注意 パネルを切断したり、胴縁に孔をあける場合は、取り扱いに注意してください。手にけがをすることがあります。

隅部

- パネルを角度にあわせて取付けます。



品名			寸法・記号	形状	数量			
					H900	H1200	H1500	H1800
主柱	①	パネル取付B.N	8×38F		4	4	4	4
端柱	①	パネル取付B.N	8×38F		2	2	2	2
隅柱	①	パネル取付B.N	8×38F		4	4	4	4



注意

●施工注意点

- ①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。また、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ②基礎打設または基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より10mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。
- ③施工現場にて部材の加工を行った場合は必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

●取扱い注意点

- ①標準フェンスに他の付属物(防風ネット、目隠し板等)を取付ける場合は、必ず弊社までお問合せの上、強度の確認をしてください。お問合せの無い場合、破損等に対する責任を負いかねます。